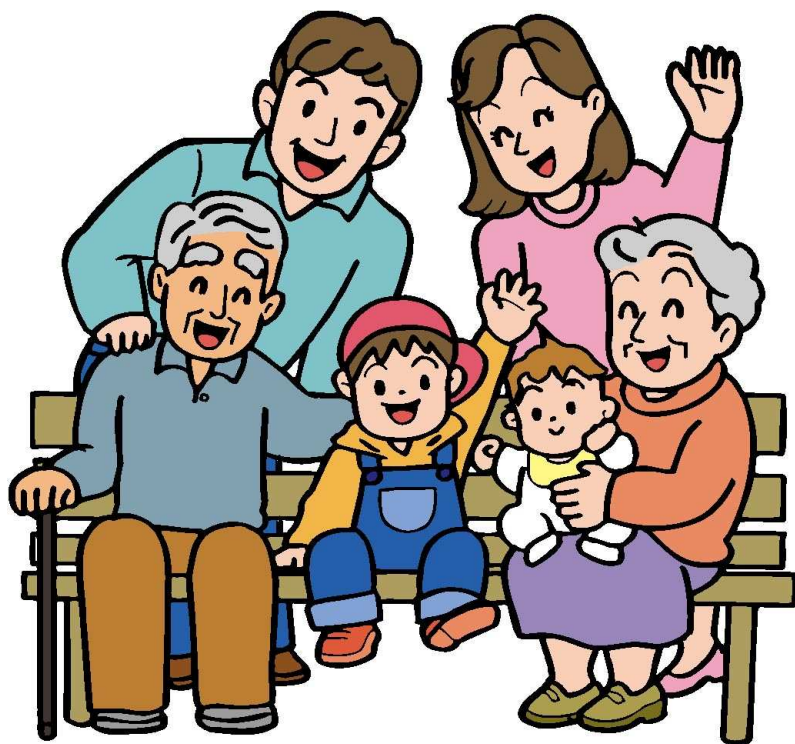


平成22年度予算概要

「自立」「協働」「健康」

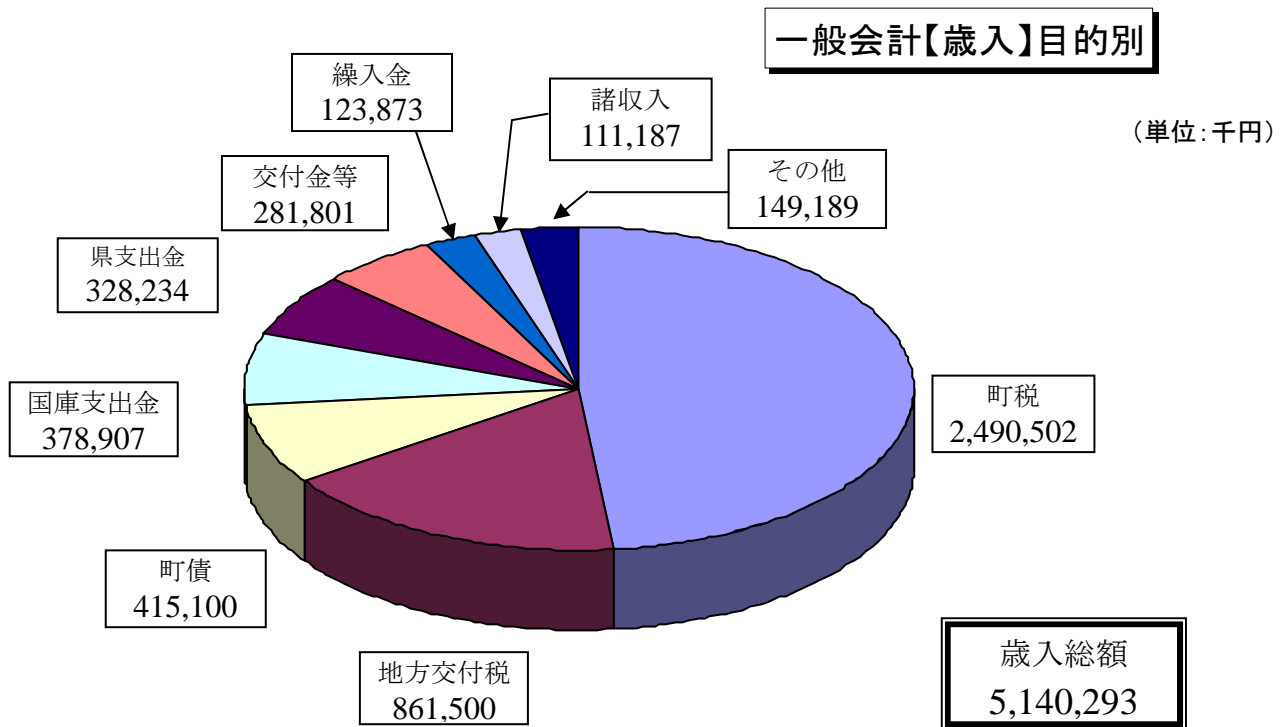


酒々井町

Ⅰ 平成22年度の一般会計予算

平成22年度の一般会計の歳入歳出の予算を費目別（使用する目的別）に円グラフと表で現しています。歳出の表では、目的別（表2：使用する目的別）と性質別（表3：使用する性質別）の2表からなり、平成21年度の当初予算額との比較をしています。

1. 歳入



平成22年度一般会計予算歳入（表1）の主な内容については、次のとおりです。

町税については、家屋の新增築により固定資産税がやや増加するものの、昨年からの世界的な不況により個人町民税及び法人町民税が大幅に落ち込む影響などから対前年度比1億1,419万3千円、4.4%減の24億9,050万2千円を見込んでいます。

地方譲与税及び各種交付金についても、自動車や住宅ローンなどの減税分の補てんとなる地方特例交付金は増加しますが、不況の影響により、地方消費税交付金や株式等譲渡所得割交付金、自動車取得税交付金などが減収となることから、交付金等全体で6,659万9千円の減収となっています。

地方交付税については、「地域活性化・雇用等臨時特例費」の創設など交付税制度の改正による増加要因などから、対前年度比9,150万円、11.9%増の8億6,150万円を見込んでいます。

国庫支出金については、地域活力基盤創造交付金の増加はあるものの、酒々井小学校屋内運動場改築事業やまちづくり交付金などの減少により対前年度比8,131万3千円、17.7%減の3億7,890万7千円となっています。

県支出金については、雇用創出の関連事業や国勢調査に関する県補助金の増加、また、酒々井インターチェンジ関連道路整備県負担金の皆減により対前年度比9,807万8千円、23.0%減の3億2,823万4千円となっています。

繰入金については、個人町民税及び法人町民税の大幅な落ち込みがあったことから、財政調整基金からの繰入を増やし、対前年度比1億318万1千円、498.7%増の1億2,387万3千円となっています。

繰越金は、厳しい財政事情の中、歳出額を精査して最小限の予算としているため、前年度の歳計剰余金（前年度会計で余った資金）を前年度と同様に6,000万円程度と見込み、繰越金を3,000万円としています。〔歳計剰余金の2分の1以上は、財政調整基金に積み立てることとなっています。〕

町債については、酒々井小学校屋内運動場改築事業の完了により、対前年度比1億9,710万円、32.2%減の4億1,510万円となっています。

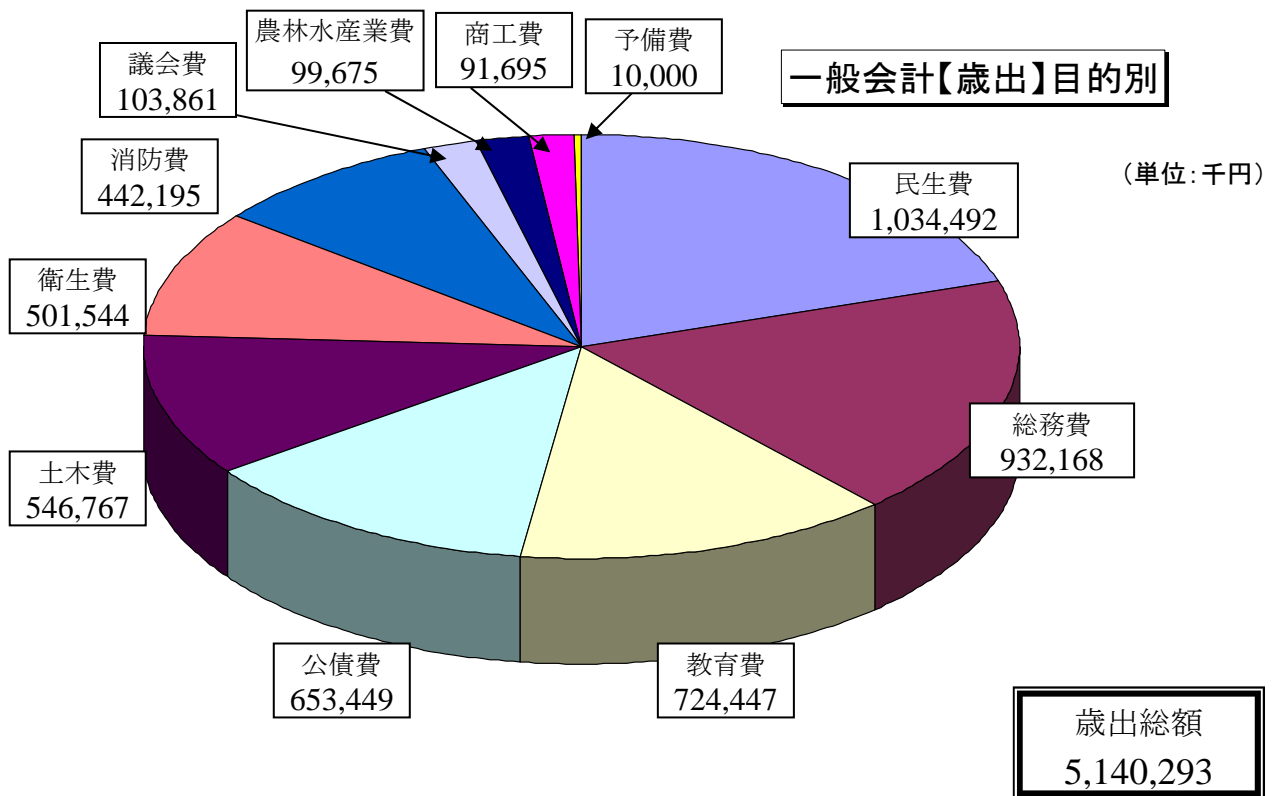
このような状況の中、歳入総額は、51億4,029万3千円となり、対前年度比3億6,092万円、6.6%の減となっています。

表1 平成22年度一般会計 歳入

(単位:千円、%)

款	平成22年度 当初予算額	構成比	平成21年度 当初予算額	構成比	比較増減	伸率
1 町 税	2,490,502	48.4	2,604,695	47.3	△ 114,193	△ 4.4
2 地 方 譲 与 税	71,201	1.4	75,000	1.4	△ 3,799	△ 5.1
3 利 子 割 交 付 金	10,300	0.2	12,000	0.2	△ 1,700	△ 14.2
4 配 当 割 交 付 金	4,700	0.1	5,000	0.1	△ 300	△ 6.0
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	2,000	0.0	4,000	0.1	△ 2,000	△ 50.0
6 地 方 消 費 税 交 付 金	135,000	2.6	165,000	3.0	△ 30,000	△ 18.2
7 自 動 車 取 得 税 交 付 金	19,300	0.4	31,000	0.6	△ 11,700	△ 37.7
8 地 方 特 例 交 付 金	35,300	0.7	51,500	0.9	△ 16,200	△ 31.5
9 地 方 交 付 税	861,500	16.7	770,000	14.0	91,500	11.9
10 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	4,000	0.1	4,900	0.1	△ 900	△ 18.4
11 分 担 金 及 び 負 担 金	66,772	1.3	63,446	1.2	3,326	5.2
12 使 用 料 及 び 手 数 料	48,483	0.9	50,415	0.9	△ 1,932	△ 3.8
13 国 庫 支 出 金	378,907	7.4	460,220	8.4	△ 81,313	△ 17.7
14 県 支 出 金	328,234	6.4	426,312	7.7	△ 98,078	△ 23.0
15 財 産 収 入	3,932	0.1	5,112	0.1	△ 1,180	△ 23.1
16 寄 付 金	2	0.0	2	0.0	0	0.0
17 繰 入 金	123,873	2.4	20,692	0.4	103,181	498.7
18 繰 越 金	30,000	0.6	30,000	0.5	0	0.0
19 諸 収 入	111,187	2.2	109,719	2.0	1,468	1.3
20 町 債	415,100	8.1	612,200	11.1	△ 197,100	△ 32.2
合 計	5,140,293	100.0	5,501,213	100.0	△ 360,920	△ 6.6

2. 歳出



平成22年度一般会計予算歳出(表2)の主な内容については、次のとおりです。

議会費は、議員の欠員が1名生じたことから、対前年度年比362万1千円、3.4%減の1億386万1千円となっています。

総務費については、株式会社JR東日本が設置する酒々井駅構内エレベーターに係る設備整備費補助事業3,800万円、安全・安心まちづくりパトロール事業1,426万6千円、参議院議員選挙費890万8千円、登記情報照合調査業務572万3千円、株式会社広域高速ネット296への出資500万円、国勢調査費880万8千円、第5次総合計画策定事業413万1千円、また、衆議院議員選挙費867万7千円、町長選挙費597万8千円、町政施行120周年記念事業費200万円などの減少により対前年度比1億2,898万2千円、16.1%増の9億3,216万8千円となっています。

民生費については、井戸端(交流サロン)運営に係る事業費598万6千円、障害者の自立支援に係る介護給付費・訓練等給付費の増加経費1,168万円、介護保険特別会計繰出金382万9千円、後期高齢者医療療養給付費負担金1,774万5千円の増加、また、管外保育委託料388万8千円の減少により対前年度比3,028万1千円、3.0%増の10億3,449万2千円となっています。

衛生費については、新ワクチンによる日本脳炎の予防接種などに係る経費983万4千円、子ども医療費拡充に伴う経費2,261万3千円の増加、また、印旛広域水道事業負担金372万6千円、印旛衛生施設管理組合負担金205万9千円の減少により対前年度比2,015万9千円、4.2%増の5億154万4千円となっています。

農林水産業費については、ハーブガーデン運営関連経費が商工費に異動したことにより200万4千円減少したものの、人件費の増加により対前年度比8万3千円、0.1%増の

9, 967万5千円となっています。

商工費については、ちびっこ天国運営に係る施設改修費等896万9千円の減少により対前年度比150万8千円、1.6%減の9,169万5千円となっています。

土木費については、南酒々井橋耐震補強及びはく落対策事業やJR酒々井駅西口エレベーター設置事業を含む地域活力基盤創造交付金事業が1億8,770万8千円の増、また、地域活性化事業2億7,460万円や下水道事業への繰出金883万4千円の減などにより、対前年度比7,629万4千円、12.2%減の5億4,676万7千円となっています。

消防費については、小型動力ポンプ積載車整備900万円、防火水槽設置工事777万円の実施、また、洪水ハザードマップ作成終了に伴い420万円の減などにより対前年度比1,328万6千円、3.1%増の4億4,219万5千円となっています。

教育費については、スクール支援員活用推進事業356万5千円、社会科副読本作成事業310万8千円、町立図書館電算システム整備事業182万9千円の増、酒々井小学校屋内運動場改築事業・酒々井小学校北校舎及び酒々井中学校屋内運動場耐震化補強設計の完了に伴い3億8,377万1千円の減などにより対前年度比3億9,858万7千円、35.5%減の7億2,444万7千円となっています。

公債費については、史跡本佐倉城跡用地先行取得事業の償還が進んでいることなどから、対前年度比7,370万1千円、10.1%減の6億5,344万9千円となっています。

歳出の総額は、歳入と同額の51億4,029万3千円で、対前年度比3億6,092万円、6.6%減となります。

表2 平成22年度一般会計 目的別歳出

(単位:千円、%)

款	平成22年度 当初予算額	構成比	平成21年度 当初予算額	構成比	比較増減	伸率
1 議 会 費	103,861	2.0	107,482	2.0	△ 3,621	△ 3.4
2 総 務 費	932,168	18.1	803,186	14.6	128,982	16.1
3 民 生 費	1,034,492	20.1	1,004,211	18.3	30,281	3.0
4 衛 生 費	501,544	9.8	481,385	8.7	20,159	4.2
5 農 林 水 産 業 費	99,675	2.0	99,592	1.8	83	0.1
6 商 工 費	91,695	1.8	93,203	1.7	△ 1,508	△ 1.6
7 土 木 費	546,767	10.6	623,061	11.3	△ 76,294	△ 12.2
8 消 防 費	442,195	8.6	428,909	7.8	13,286	3.1
9 教 育 費	724,447	14.1	1,123,034	20.4	△ 398,587	△ 35.5
10 公 債 費	653,449	12.7	727,150	13.2	△ 73,701	△ 10.1
11 予 備 費	10,000	0.2	10,000	0.2	0	0.0
合 計	5,140,293	100.0	5,501,213	100.0	△ 360,920	△ 6.6

表3 平成22年度一般会計 性質別歳出

(単位:千円、%)

項目	平成22年度 当初予算額	構成比	平成21年度 当初予算額	構成比	比較増減	伸率	
1 人件費	1,509,051	29.4	1,500,503	27.3	8,548	0.6	
2 扶助費	381,730	7.4	344,336	6.3	37,394	10.9	
3 公債費	653,449	12.7	727,150	13.2	△ 73,701	△ 10.1	
義務的経費小計	2,544,230	49.5	2,571,989	46.8	△ 27,759	△ 1.1	
4 物件費	860,257	16.8	780,875	14.2	79,382	10.2	
5 維持補修費	10,779	0.2	8,514	0.2	2,265	26.6	
6 補助費等	756,907	14.7	836,986	15.2	△ 80,079	△ 9.6	
経常的経費小計	4,172,173	81.2	4,198,364	76.3	△ 26,191	△ 0.6	
7 普通建設事業費	474,608	9.2	914,361	16.6	△ 439,753	△ 48.1	
内訳	補助事業費	327,222	6.4	754,054	13.7	△ 426,832	△ 56.6
	単独事業費	147,386	2.9	160,307	2.9	△ 12,921	△ 8.1
8 積立金	9,484	0.2	9,557	0.2	△ 73	△ 0.8	
9 投資及び出資金	21,890	0.4	19,957	0.4	1,933	9.7	
10 貸付金	3,000	0.1	3,000	0.0	0	0.0	
11 繰出金	449,138	8.7	345,974	6.3	103,164	29.8	
12 予備費	10,000	0.2	10,000	0.2	0	0.0	
合計	5,140,293	100.0	5,501,213	100.0	△ 360,920	△ 6.6	

性質別歳出(表3)を見ると、経常的経費のうち義務的経費では、子ども医療費の拡充により扶助費が増加しましたが、史跡本佐倉城跡用地取得に係る公債費が減少しており、人件費についても、議員、特別職及び一般職手当の削減を行ったため、義務的経費は対前年度比2,775万9千円、1.1%減の25億4,423万円となりました。

物件費については、緊急雇用創出事業やふるさと雇用基金事業、戸籍電算化事業に伴う賃借料、新ワクチンによる日本脳炎の予防接種事業の拡充などにより対前年度比7,938万2千円、10.2%増の8億6,025万7千円となりました。

補助費等については、佐倉市八街市酒々井町消防組合や佐倉市、酒々井町清掃組合への負担金の減少、県電子自治体共同運営協議会負担金の減少などにより対前年度比8,007万9千円、9.6%減の7億5,690万7千円となっています。

普通建設事業については、地域活性化事業や地域活力基盤創造交付金事業並びにその他事業内容や緊急性等を精査した結果実施するもので、対前年度比4億3,975万3千円、48.1%減の4億7,460万8千円となっています。

繰出金については、後期高齢者医療特別会計への繰出金が増加したことなどから対前年度比1億316万4千円、29.8%増の4億4,913万8千円となりました。

II 各特別会計

各特別会計の予算状況は次のとおりです。

(単位:千円、%)

特別会計名	平成22年度 当初予算	平成21年度 当初予算	比較増減	伸率
国民健康保険特別会計	2,178,964	1,938,805	240,159	12.4
下水道事業特別会計	356,471	383,305	△ 26,834	△ 7.0
老人保健特別会計	4,195	3,642	553	15.2
介護保険特別会計	885,133	853,687	31,446	3.7
後期高齢者医療特別会計	146,453	124,195	22,258	17.9
計	3,571,216	3,303,634	267,582	8.1

後期高齢者医療特別会計は、平成18年6月に「高齢者の医療の確保に関する法律」が公布され、原則75歳以上の高齢者が加入する新たな医療制度による特別会計です。これにより、老人保健特別会計は精算終了後には廃止される予定です。

III 水道事業会計

水道事業会計は次のとおりです。独立採算制で経営されており、経営努力により経費の削減を図っていますが、今後施設等の老朽化から資本的支出の増加が見込まれます。

(単位:千円、%)

企業会計収支	平成22年度 当初予算	平成21年度 当初予算	比較増減	伸率
水道事業収益	463,853	469,970	△ 6,117	△ 1.3
営業収益	453,341	450,733	2,608	0.6
営業外収益	10,512	19,237	△ 8,725	△ 45.4
水道事業費用	416,873	384,316	32,557	8.5
営業費用	349,337	308,970	40,367	13.1
営業外費用	65,536	73,346	△ 7,810	△ 10.6
予備費	2,000	2,000	0	0.0
資本的収入	2,857	5,855	△ 2,998	△ 51.2
分担金及び負担金	2,857	5,855	△ 2,998	△ 51.2
資本的支出	264,513	201,695	62,818	31.1
建設改良費	178,070	118,642	59,428	50.1
企業債償還金	84,443	81,053	3,390	4.2
予備費	2,000	2,000	0	0.0

Ⅳ 町のローン残高（地方債の状況）

町債は、主に道路や施設等を整備するために町が借り入れるお金です。

過去の借金の返済は進んでいますが、近年は町が国の代わりに借金する「臨時財政対策債」の借入金残高が増加しています。

（単位：千円）

会計名	平成21年度末見込額	平成22年度中の増減	平成22年度末見込額
一般会計	4,571,293	△ 33,164	4,538,129
下水道事業特別会計	1,225,872	△ 72,888	1,152,984
水道事業会計	1,410,791	△ 84,443	1,326,348
計	7,207,956	△ 190,495	7,017,461

Ⅴ 町の貯金残高（基金残高）

基金は、町が予算を編成する際の財源補てんや特定の目的のために積み立てている貯金です。個人で例えると財形貯蓄、住宅積立金、学資積立金などに当たり、後年度の資金需要や財源不足に備えるためのものです。

【一般会計】

（単位：千円）

基金名称	平成21年度末見込額	平成22年度中増減見込額	平成22年度末見込額
1. 財政調整基金	411,518	△ 70,969	340,549
2. 減債基金	628	2	630
3. 都市開発基金	22,515	20	22,535
4. 地域福祉基金	1,851	2	1,853
5. 児童・生徒国際交流振興基金	3,231	△ 1,842	1,389
6. ちびっこ天国基金	353,771	△ 5,549	348,222
7. 土地開発基金	2,503	2	2,505
計	796,017	△ 78,334	717,683

【国民健康保険特別会計】

（単位：千円）

基金名称	平成21年度末見込額	平成22年度中増減見込額	平成22年度末見込額
1. 財政調整基金	424	0	424
2. 高額療養費貸付基金	3,000	0	3,000
計	3,424	0	3,424

【介護保険特別会計】

（単位：千円）

基金名称	平成21年度末見込額	平成22年度中増減見込額	平成22年度末見込額
1. 介護給付費準備基金	102,051	14,644	116,695

※平成21年度末見込額は、平成22年度予算編成時点での見込額となりますので、実際の基金額とは異なる場合があります。

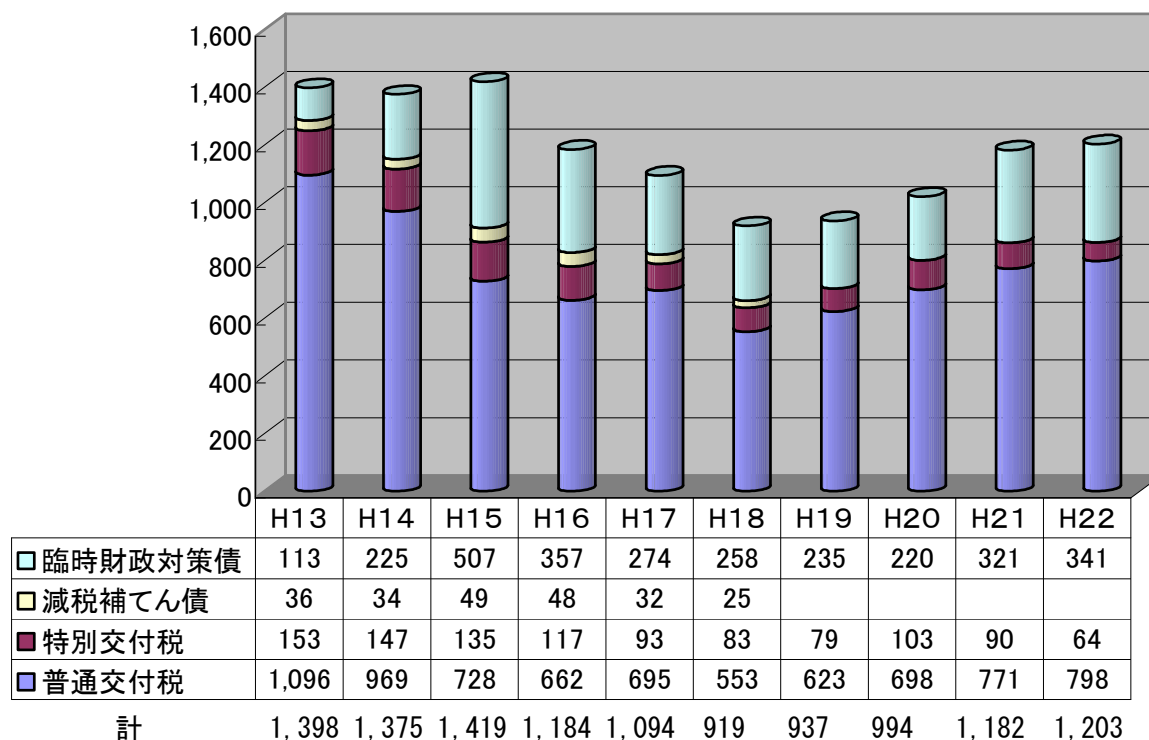
VI 平成22年度の親からの援助（国から町への財源補てん）

すべての地方団体が一定の行政サービスを提供できるよう財源を保障するため、地方の固有財源として地方交付税が配分されています。しかしながら、国の三位一体の改革などによって地方交付税の一部が「減税補てん債（平成18年度をもって制度廃止）」や「臨時財政対策債」などの借入金に振り替えられています。

平成22年度の国からの財源補てんについては、地方交付税は「地域活性化・雇用等臨時特例費」の創設や臨時財政対策債への振替などにより増加し、12億300万円を見込んでいます。

国からの財源補てんの推移

単位：百万円



※ 平成13年度から平成20年度までは決算額で、平成21年度は決算見込額、平成22年度は予算額です。